

中小企業の取組事例をご紹介します

デジタル化で 現場の困りごとを解決!

IT化やIoT導入、DX推進など、デジタル化の重要性が高まっています。

デジタル化に取り組みたいと考えているものの

「どこから始めていいかわからない」などお悩みの方も多はず。

実際にデジタル化に取り組む中小企業様の事例から、

その効果やデジタル化を進めるポイントをお伝えします!

専門家による
無料相談はこちら!



(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援部イノベーション支援課

TEL 045-225-3733 E-mail innov@idec.or.jp



事例1 “生産工程の見える化”により、設備の停止時間を大幅削減!



協和合金株式会社(金沢区)

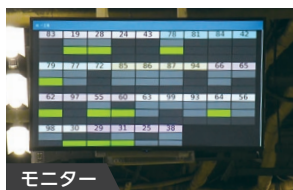
「シンクロナイザー」を中心に、自動車部品の製造販売を一貫生産体制で行う。

1 デジタル化の背景・目的

コロナ禍を機に、社内業務見直し活動を開始。
IoT導入により生産工程を見える化し、生産性向上へ!

2 デジタル化の取組

- ▶情報収集機(ラズベリーパイ)を各設備に80台設置。
- ▶モニターで全設備の稼働状況をリアルタイムに把握。



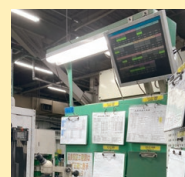
3 デジタル化による効果

Before — デジタル化前

- 製品の加工にかかる時間をタイマーで計測。
- リアルタイムに設備の稼働状況や工程の進捗が把握できていない。

After — デジタル化後

- 設備の停止にすばやく対応でき、停止時間を大幅に削減!(年間70万円のロスを削減)
- 製品の加工にかかる時間を把握することで、より正確な原価の算出が可能に!
- 従業員のIoT化に対する興味や理解度もアップ!



ロス削減

主な導入経費 ●ラズベリーパイ(周辺機器含む):4万円/台 ●モニター:12万円/台

デジタル化のポイント

IDEC横浜の専門家派遣を活用して、自社でシステムを構築!

事例2・3は裏面へ▶

事例2 リアルタイムの情報共有で生産性向上。売上げ総利益率もUP!



株式会社キョーフハーツ(港北区)

超精密金型製作・精密プレス加工の技術で、製品開発から量産までを一貫対応。

1 デジタル化の背景・目的

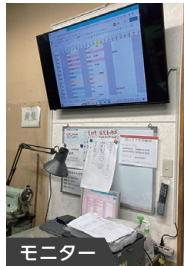
セミナーをきっかけに、手書きや転記をなくすところから自社でデジタル化をスタート!

2 デジタル化の取組

- ▶ プレス機と金型に二次元コードを貼付。
- ▶ 二次元コードをスマホでスキャンし、各設備の稼働実績を入力。
- ▶ データが表計算ソフトに届き、生産状況をモニターで全社員に共有。



スキャンの様子



モニター



工場内の様子

3 デジタル化による効果

Before

デジタル化前

- プレス機と金型の生産状況の共有ができない。
- 各工程で作成する帳票類の手書きや転記による時間のロス。

After

デジタル化後

- リアルタイムの情報共有により、停滞時間や生産計画の変更が減少。
- 生産性が上がり、売上げ総利益率も着実にアップ。
- 年間の休日が113日から125日に増加。

総利益率UP

休日増加

＼(株)キョーフハーツ様からのアドバイス！

デジタル化は、現場の従業員が「便利だな」と実感しない限り実現できません。現場の声を聞き、意見をくみ取ることが何より大切です。

主な導入経費 ● スマホ、表計算ソフト:5千円/月(レンタル) ● パソコン:3万円/台 ● モニター:10万円/台

デジタル化のポイント // 低コストのスムーズスタートでデジタル化を推進!

事例3 工程の一元管理によって、工数や仕掛品の把握が楽に!



新日産ダイヤモンド工業株式会社(金沢区)

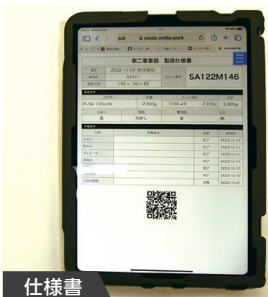
ダイヤモンド工具・特殊耐熱樹脂のオリジナル製品の製造を幅広く行う。

1 デジタル化の背景・目的

関連会社はすでにデジタル化を実施。より正確な在庫状況の把握や、その把握にかかる時間の削減のため、デジタル化へ!

2 デジタル化の取組

- ▶ 各工程の従業員にタブレット端末を配布し、受注情報(仕様書)を共有化。
- ▶ 帳票類に手書きしていた各工程の状況を端末に入力。
- ▶ 受注管理表で、全工程の進捗状況を一元的に管理。



仕様書



工場内の様子



受注管理表

3 デジタル化による効果

Before

デジタル化前

- 仕様書に各工程の状況を手書きで記入した後、複数のデータに転記。
- 多重管理により、在庫状況と一致していないデータもあった。
- 各工程での仕掛品がリアルタイムで把握できない。

After

デジタル化後

- 工程の一元管理で、仕掛品の状況が容易に把握できるようになった。
- タブレットへの入力のみで、状況把握が可能になった。転記ミスがなくなった。
- 過去の仕様書をデータ化することで顧客情報の管理ができるようになった。

効率UP

主な導入経費 ● システム外注・委託費:370万円 ● タブレット:7万円/台 ※市補助金を活用

デジタル化のポイント // IDEC横浜の専門家による伴走型の支援を受けて、自社に適したシステムを導入!